

デバイスWebAPIコンソーシアム 第一回総会について

2015年7月2日

- ・開催日時 2015年6月2日(火)15:00~15:35+勉強会・懇親会
- ・開催場所 NTTドコモベンチャーズ
- ・出席会員数 総会員65会員中53会員93名+関係者で100人超

総会の内容

・理事選任

代表 NTTドコモ サービスイノベーション部 部長 大野

副代表 慶應義塾大学メディアデザイン研究科 砂原先生(モジラジャパン理事等)

監事 ソフトバンクモバイル デバイス技術部 部長 土井様

・細則規定、ワーキンググループ、今後の計画等の審議

・技術勉強会(講演)

NTTドコモ 山添 : 「GotAPIの概要と技術解説」

Gclue 佐々木社長 : 「IoTの規格標準化動向とデバイスWebAPI」

・懇親会 参加者85名+関係者

デモ出展:7社

スペシャルゲスト:慶應SFC学部長 村井先生



GClue社
オムロンHVC-C、Hue、Sphero等



スタッフネット社
映像中継ソリューションのデモ



Vuzix社
HMDのデモ



ソニーCSL社
KADEKOT、Echonet Lite連携



インフィテグラ社
スマートフォンで 有線USBカメラ



M2Mテクノロジーズ社
WebAPIとMQTTによる回転灯操作のデモ

オムロン社(写真なし)
HVC-C(BLE顔認識モジュール)

コンソーシアムサイトにもレポートを掲載 http://device-webapi.org/event/20150602/1st_plenary_meeting.html

	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
活動計画		△第一回総会 △理事会にて細則決議・公開（7月） △第一回技術WG開催（本日） ・定期的に2か月に1回程度会合 ・ハンズオン勉強会や開発者イベント開催等 ・関連技術の勉強会など		第二回総会△

OMA GotAPI 標準化作業状況アップデート

2015年7月2日

以下のURL(OmA※のWebサイト)から無料で入手可能

Full Specification

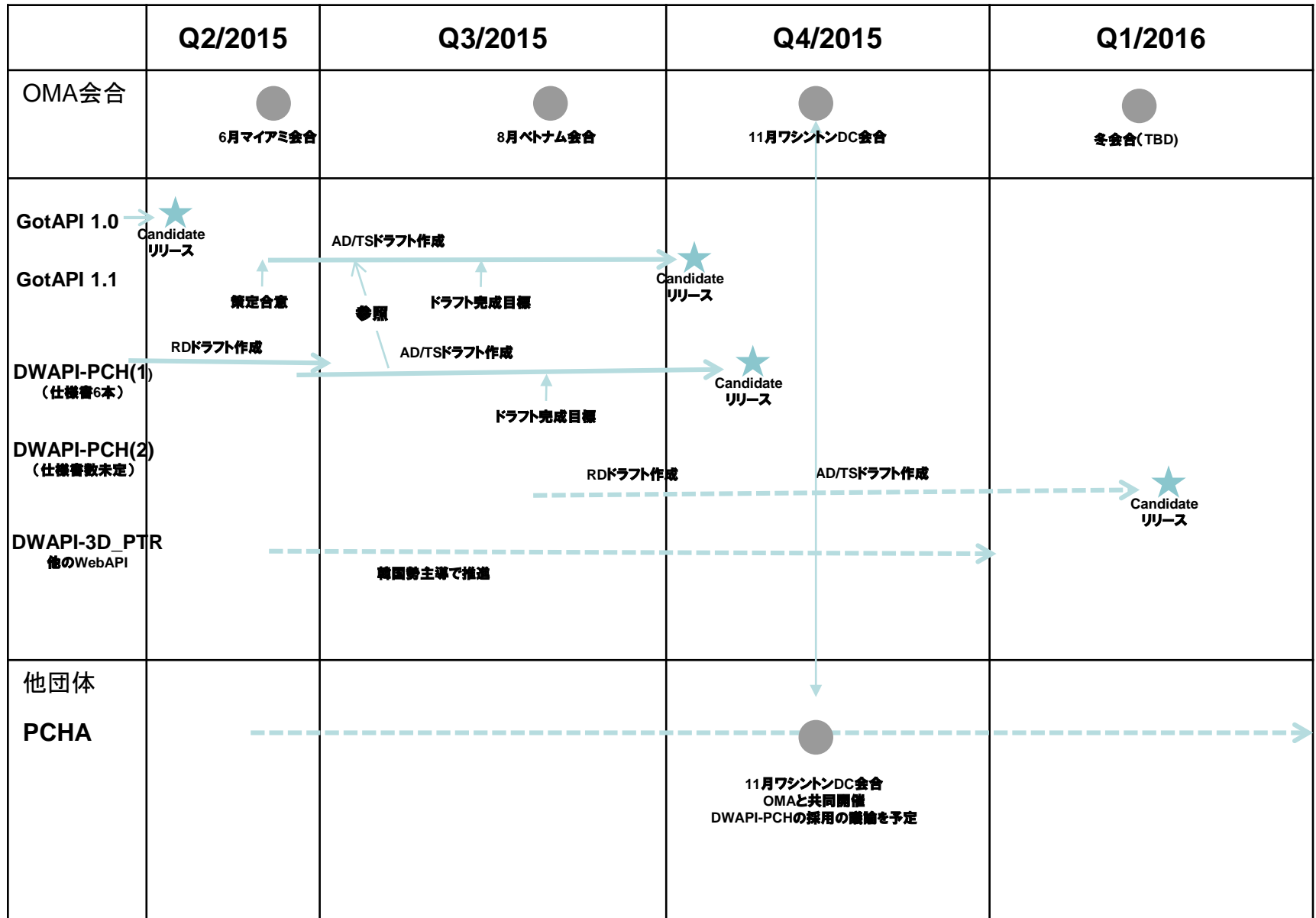
<http://technical.openmobilealliance.org/Technical/technical-information/release-program/current-releases/generic-open-terminal-api-framework-1-0>

White Paper

<http://openmobilealliance.hs-sites.com/gotapi-making-the-internet-of-things-interoperable>

※OMA(Opne Mobile Alliance) : 携帯電話関連の標準化団体

OMAでのスケジュール



仕様書の説明

仕様書	概要	備考
GotAPI 1.0	2015年3月にCandidate リリースされた	
GotAPI 1.1	PCH等での非同期通知等様々な利用ができるWebSocketをGotAPI 1.0に追加 6月会合で策定が合意され、早期のリリースを目指す	リリース予定:9月頃
DWAPI-PCH	GotAPI配下で健康機器を使うための7種のデバイスAPI (1)Thermometer, (2)Pulse Oximeter, (3)Weight Scale, (4)Body Composition Analyzer, (5)Blood Pressure, (6)Glucometer, (7)Heart Rate Electrocardiogram IEEE 11073をベース PCHA(Personal Connected Healthcare Alliance)のガイドラインでの採用を目指す RDドラフトはほぼ完成 これ以外の機器の策定については市場の要望次第	11月OMA-PCHAで合同 会合開催し、協議予定 RDは富士通社主導、 AD/TSはドコモ主導
DWAPI-3D_PTR	韓国企業より3DプリンタのDWAPI作成が提案され、6月会合で策定が合意された。 7月以降、策定が開始される見込み 3Dプリンタ以外のデバイスに展開される可能性がある	韓国企業主導

DWAPI: Device WebAPI
PCH: Personal Connected Healthcare

RD: Requirement
AD: Architecture
TS: Technical Spec.

6月のマイアミ会合での状況

・健康機器のDevice WebAPI標準化

要求条件(Requirement)が本会合でほぼまとまった。

IEEE 11073をベースとして優先度の高い7種のデバイスAPIをまず定め、PCHA(Personal Connected Healthcare Alliance)のガイドラインでの採用を目指す。

- (1) Thermometer API
- (2) Pulse Oximeter API
- (3) Weight Scale API
- (4) Body Composition Analyzer API
- (5) Blood Pressure API
- (6) Glucometer API
- (7) Heart Rate Electrocardiogram API

11月にOMA-PCHAのジョイント会合を開催予定。

●策定中のDWAPI-PCHのRequirement最新ドラフト

http://member.openmobilealliance.org/ftp/Public_documents/CD/DWAPI/Permanent_documents/OMA-ER-Device_WebAPIs-V1_0-20150614-D.zip

・3DプリンタのDevice WebAPI標準化の提案

韓国の団体KWISA(Korean Wireless Internet Solution Association)の主導で、GotAPI配下で使う3DプリンタのDevice WebAPI策定作業が開始される見込み。

KWISAによると、KWISA会員企業で3Dプリンタを展開中の企業が複数あり、標準化による普及が望まれているとのこと。

W3C WoT IG (<http://www.w3.org/WoT/IG/>)

WoTサーバ(GotAPIサーバに相当)の配置として次の4種類に整理
(スマホーWoTサーバーデバイスという大まかな構成は共通)

- (1)デバイスcentric:WoTサーバをデバイスに置く。
- (2)スマホcentric:WoTサーバをスマホ内に置く。
- (3)ゲートウェイcentric:WoTサーバをローカルのセンサGWに置く。
- (4)クラウドcentric:WoTサーバをクラウド上に置く。

Working Groupではなく(作業ではなく興味ของกลุ่ม)、具体化はまだの状況。
F2F会合が7月末にサニーベールの富士通オフィスであり、そちらでのGotAPIに関する
インプットはOMAで連携しているAT&Tと富士通の方からもしていただける予定。